

6月11日(木)
3年理数科課題研究発表会

6月11日(木) グラントワ小ホールにおいて、12ゼミの研究発表が行われ、2年生から研究してきた成果を披露しました。保護者をはじめ、外部の方々の参加、ならびに質疑もありました。以下は、発表順とテーマです。

1. 体を温める食べ物
2. ガンガゼについて
3. 色素増感型太陽電池
4. 飛行機の翼型変化について
5. 粘菌がエサを探る過程を探る
6. 超伝導体
7. 転がり摩擦
8. 植物の成長と音の関係
9. 「乳酸緩衝能」を広げて無限の体力を手に入れる!
10. オセロの必勝法 ～4×4マスの場合～
11. ドンコの視覚と体色変化
12. 液状化

本年度は、審査員として山口大学の野崎先生、広島大学の西堀先生、山口東京理科大学の井口先生、シマネ益田電子の広瀬様の4名の先生方をお招きして審査をお願いしました。来賓としてもJSTより主任調査員の宮崎氏や本校SSH運営指導委員の前田氏、益田中学校校長の田原先生にもおいで頂きました。また、師範発表として、山口大学大学院の阿部氏、広島大学大学院の伊藤氏、山口東京理科大学助教の舟浴先生の3方にも生徒の前で発表して頂きました。特に、審査員でお越し頂いた先生方には、発表後に質問を交えながら直接生徒に指導して頂く場面が随所に見られ、生徒たちに将来訪れるであろう研究生活の指針を与えて頂きました。さらに、最後の講評で山口大学の野崎先生には、研究のあり方と受験への心構えまでご指導いただきました。

今年度3年生の研究では、身近なものに気付く感性をもって、研究に取り組んでいく姿勢が随所に見られました。発表を聴講した2年生にも大いに伝わった発表会になったと思います。

発表会の結果、最優秀研究発表班には、「5. 粘菌がエサを探る過程を探る」が選ばれました。夏に大阪で行われる全国SSH生徒研究発表会への代表として、益田高校の研究レベルの高さを全国にアピールしてほしいと思います。

